




## ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.5 (3号町道橋-左岸)		調査位置						北緯	36° 25' 02.0000"		
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所 河川砂防部				調査期間	2008-01-19 ~ 2008-01-22				東経	139° 53' 58.0000"	
調査業者名			主任技師				現代場人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	57.80 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	ハンマー落下用具			
総掘進長	19.32 m	度					エンジン	ポンプ				

標尺	層高	厚	度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日		
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深度	試験名および結果	深度	試料番号			採取方法	
													0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)				(m)								
					埋土(礫混じりシルト)(FI)	暗褐		中位	含水・粘性ともに中位である 礫は 5～10mmの円・亜円礫 下部砂が少量混じる			1.15				5								
1	57.00	0.80	0.80																					
	56.70	0.30	1.10		シルト(M)	暗褐		中位	含水・粘性ともに中位である 赤褐色の軽石が混じる			1.45	2	1	2	30	5							
					粘土(CH)	淡褐		中位	含水量中位、粘性小さい 1.0～1.20m間は小礫が混じる			2.15	4	5	5	30	14							
2	56.00	0.70	1.80									2.45												
	55.30	0.70	2.50		細砂(FS)	暗灰		中ぐらい	粒径不均一な細砂 5～10mmの円礫を点在する		01/19 2/27 —													
					砂礫(GS)				5～40mmの円・亜円礫主体 100～200mm(コア長 L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 3.7m付近に玉石が数個混入 4.8m付近から褐色を呈し、粘土分 が多く混じる 6.0～7.5m間は一部茶褐色を呈す 安山岩・流紋岩など火成岩が多い			3.15					50							
3												3.45	16	16	18	30	50							
												4.15	28	4		50	14							
4												4.29	22				>50							
												5.15												
5												5.45	15	16	13	30	44							
												6.15												
6												6.41	12	13	6	25	50	>50						
												7.15												
7												7.45												
												8.15												
8												8.39	23	19	4	50	24	>50						
	49.20	6.10	8.60									9.15												
9					礫混じり細砂(FS-G)	暗褐		中ぐらい	粒径不均一な細砂で粘土分が少量 混じる 5～10mmの円礫を点在する			9.45	5	5	6	30	16							
	48.30	0.90	9.50									10.15	21	29	8	50	18	>50						
10					粘土混じり砂礫(GS-C)	暗褐		密な	5～40mmの円・亜円礫主体 100～200mm(コア長 L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 11.0m付近局所的に孔壁崩壊し易い			10.33												
												11.15												
11												11.45	15	16	13	30	44							
	46.10	2.20	11.70									12.15												
12					粘土(CH)	暗褐		非常に硬い	含水量少なく粘性やや小さい 半固結状粘土 2～5mmの火山礫が混じる			12.45	6	6	8	30	20							
	45.20	0.90	12.60									13.15												
13					粘土混じり砂礫(GS-C)				5～40mmの円・亜円礫主体 100～200mm(コア長 L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 全体に固結の程度が高く非常に締まっている 13.5m付近より礫が多い 15.8～16.7m間は粘土分が所どころ多い 16.0m付近で深は褐色が卓越 16.7m付近より玉石が連続する			13.45	16	13	15	30	44							
												14.15	13	25	12	50	23	>50						
14												14.38												
												15.15	50	8		50	8	>50						
15												15.23												
												16.15												
16												20	15	15	30	50	30	50						

